

# 南毛利戸陵会

vol 8

平成21年2月21日 発行責任者 城所文洋

## 総会の開催

2月15日(日) JAあつぎ南毛利支所2階ホールにおいて、平成20年度南毛利戸陵会総会を開催しました。南毛利地区会員64名の出席に加え、同窓会本部から近藤俊二会長、志村事務局次長のご出席をいただきました。総会は、城所会長の挨拶に始まり、平成20年度事業報告、収支決算報告、平成21年度事業計画、新役員選出等を審議し、出席者全員の賛成を得て議案通り決定しました。

近藤会長はご挨拶の中で「南毛利戸陵会の活動が大変盛んであることはとても喜ばしく、他支部の見本となっている。戸陵会の存在意義は同窓生同士の交流親睦の場であることと現役厚高生の援助の母体である。」と話され、参加者一同会費の納入に是非ご協力をいただきたいと再確認されました。

続いて、山口前厚木市長から「その一言が我を支え育ててくれた」と題した講演をいただき、お父様からの教えとしての「憎くてたたくに非ず笹の雪」との言葉は大変重みのある話でした。出席者全員での記念撮影のあと、アトラクションとして南毛利オカリナグループ「Happy Tree」の心温まる演奏を聞き、懇親会が始まりました。年代を超えて昔の思い出話に花を咲かせて大いに盛り上がり、あっという間の2時間が過ぎました。最後に関野幹事のリードによる恒例の「厚木高校校歌」を高らかに歌い、再会を約束して閉会しました。これからも会員の皆様のご支援ご協力を得て、活発な活動を実行していきたいと念願しています。

城所会長挨拶

近藤同窓会本部会長



校歌斉唱



集合写真



平成20年度南毛利戸陵会総会 平成21年2月15日